

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 8 陣の記録 日本文化交流 対象国: インドネシア

1.プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、インドネシアから国立イスラム大学(UIII)関係者 3 名が 2018 年 10 月 23 日 ~ 10 月 30 日の日程で来日し、「日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、東京都、大分県を訪問し、政府関係者、教育関連機関への表敬訪問、地方自 治体訪問、日本文化に関する関係者との意見交換を行い、友好関係を構築し、日本につ いての理解を深めました。また、成果報告会では、帰国後、各々の職務に訪日中に関心 を持った事項や体験について活かしたいと、アクション・プランを表明しました。

【参加国・人数】インドネシア 3名

【訪問地】東京都、大分県

2. 日程

10月23日(火)

来日、【オリエンテーション】

【関係者との意見交換】外務省 南部アジア部 南東アジア第二課

【関係者との懇親会】外務省

10月24日(水)

【表敬訪問】

- · 外務省 総合外交政策局国際安全·治安対策協力室長 浪岡 大介 氏
- · 外務省 国際協力局国別開発協力第一課長 岡野 結城子 氏
- ・笹川平和財団理事長 大野 修一 氏
- ・国際交流基金 アジアセンター文化事業第2チーム上級主任 後藤 愛 氏
- 10月25日(木)

【学校訪問・意見交換】

- ・跡見学園女子大学教授 小川 忠 氏
- ·東洋英和女学院大学教授 河野 毅 氏

東京都から大分県へ移動

10月26日(金)

【地域概要の聴講】大分県別府市、【学校訪問・意見交換】立命館アジア太平洋大学 10月27日(土)

【表敬訪問】立命館アジア太平洋大学長 出口 治明 氏

【学校訪問・意見交換】立命館アジア太平洋大学、【文化体験】別府地獄巡り

10月28日(日)

大分県から東京都へ移動、【ワークショップ(報告会準備)】

10月29日(月)

【学校訪問·意見交換】政策研究大学院大学(GRIPS)【成果報告会】

10月30日(火)

帰国

3.プログラム記録写真



10月24日【表敬訪問】外務省総合外 交政策局国際安全・治安対策協力室長 浪岡 大介 氏



10月24日【表敬訪問】 笹川平和財団理事長 大野 修一 氏



10月 26日【地域概要の聴講】 大分県別府市



10月26日~27日【学校訪問・意見交換】立命館アジア太平洋大学



10月27日【表敬訪問】立命館アジア 太平洋大学長 出口 治明 氏



10月27日【文化体験】別府地獄巡り



10月29日【学校訪問・意見交換】 政策研究大学院大学(GRIPS)



10月29日【成果報告会】

4.参加者の感想(抜粋)

インドネシア大学関係者

訪問先の方々が私たちの課題点そして知りたいと思っていた日本事情等に対して、熱心に、的確に、答えてくださった姿が、私にとって一番印象的でした。日本の皆さんはとても親切で、礼儀正しく、日本の習慣は心に残りました。そして、訪問先の皆さんが、私たちの新しい大学「UIII」との協力を前向きに検討したいという意向を聞くことが出来、大変うれしく思いました。これからますます日本に行くことができるインドネシア人、特に日本の大学で学べるインドネシア人が増えることを期待しています。

インドネシア大学関係者

私は立命館アジア太平洋大学(APU)から多くを学ぶことが出来ました。また、訪問した大学では、素晴らしい教授や関係者の方々とお会いすることができ、また、新しい私たちの大学(UIII)を紹介する機会を持つことが出来ました。日本のキャンパスはとても近代的で、学生に快適な施設やサービスを提供しており、学生が快適に過ごしていました。私は、図書館や学生寮、IT 環境など、学生にとって良いサービスを提供するということに強い関心を持つようになりました。別府市も私たちのデポック市も地方自治体として、地域社会と大学の間に必要なものを補い、提供していく役割を担っているということでは、同じであると思います。ですから、別府市と APU で得た知見をデポック市と UIII の連携に活用していきたいと思います。訪日中、ジャカルタでは感じることのできない日本の近代文化、日本社会の清潔さを体験し、また、日本人の規律正しさ、礼儀正しさ、障害者への配慮は、とてもしっかりと人々に根付いていると気づきました。良い行いは、まず自分自身から始めて、それを自分の家族、周りの人やコミュニティに広げて行き、UIII キャンパスの文化として根付かせていきたいと思います。

5.参加者の対外発信



「 東 京 タ ワ ー か ら ご 挨 拶 」「インドネシア代表者からご挨拶」「日本の皆さん、すてきですね。」



立命館アジア太平洋大学(APU)のインドネシア留学生と交流しました。留学生の皆さん、日・尼関係向上のために、頑張ってください。

6.報告会での帰国後のアクション・プラン発表



Facebook 及び Whats APP により、日本にいる間の体験、感想についてインドネシアの友人や職場の同僚に情報発信を行います。

タイル「UIII の講義への準備 2018 年 9 月」: UIII の使命は、違いを尊重して、平和や寛容といった価値を持った近代的なイスラム教を通して世界平和を創造していくことにあります。UIII キャンパスは、文明性、宗教性、知性という3本の柱を持つインドネシアイスラムの文明的な価値観を創出する予定です。そこで、今回のプログラムで得た知見を活かし、国の内外、中央、地方、政府、民間の別なくUIII を支えてくれる団体などと協力し、インドネシア副大統領、国家開発計画庁、宗教省、外務省、財務省へ、UIII の運営、講師、学生の受入れなどについて、いくつかの段階的に分けて UIII 設立のマスタープラン、ビジネスプランを作成し、実現に向け協力を得る予定です。